

# 心とくらしに 寄りそいます



生活サポート

## 子育てサポーター

子育て中のママやパパが親子のふれあい、食育、仲間との出会いを大切に感じられるように、気軽に集まれる交流と仲間づくりの場を提供します。ちょっと先輩ママの組合員である子育てサポーターが、乳幼児を対象とした手遊び、読み聞かせ、スキンシップ、工作などを行います。

### 活動内容

#### 子サポのママカフェ

なかなか自分たちの時間が取れない0～2歳のお子さんのママを対象に親子同室で手遊びや読み聞かせ、製作をしながらママ達同士でお話したりゆっくりお茶を飲んでもらう場を提供しています。



## LPA（ライフ・プラン・アドバイザー）

LPA(ライフ・プラン・アドバイザー)は、養成講座を受講して資格を取得した組合員が、保険や社会保障制度など、くらしのお金についての知識を組合員に広めています。

### 活動内容

#### 「親子でおこづかいゲーム」

生活の中のさまざまなお金の知識(給与、税金、年金、医療費など)を組合員に伝える活動をしています。「親子でおこづかいゲーム」では、スゴロク型のおこづかいゲーム『ニーズ&ウォンツ』を使って親子で楽しみながらお金について学びました。



#### 「サラリーマンの妻のかしこい働き方」

国の制度改革によって損をしないために、源泉徴収票の見方、サラリーマンの税の仕組みなど、「かしこい働き方」を学びました。



# 食べることの大切さを 次世代に伝える



食育

## 食育サポーター

食育サポーターは、パルシステム埼玉の「食育の定義」や「食育のすすめ」に沿った食を提案し、食育活動を推進する活動組合員です。

地区会やテーマグループなどが主催する料理教室や各種学習会での講師、レシピ提案を行います。

### 活動内容

機関誌『あすーる』の表紙、裏表紙のレシピ提案と調理も食育サポーターの活動のひとつです。作りやすいレシピで組合員から好評の声が寄せられています。



#### 「ホットケーキミックスを使っておやつ作り♪」

食育サポーターを講師に、『ホットケーキミックス』を使った料理教室を開催しました。「ウインナー入りお豆腐パン」などのメニューを親子で協力し、パン生地を混ぜたり伸ばしたりしながら作りました。



## PLA（パルシステム・ライフ・アシスタント）

養成講座を受講した組合員が、生産者・製造者の思いとともに、パルシステム商品に関するさまざまな情報を正確に把握し、組合員の視点で伝えます。

### 活動内容

#### 「ほんもの実感」「おいしい」学習会～乳製品編～

「ほんもの実感!」くらしづくりアクションの一環として、乳製品学習会を開催しました。生乳本来の風味をできるだけ損なわずに仕上げる製法を伝え、牛乳とヨーグルトの食べ比べを行いました。



#### おいしさ発見! 予約登録米と調味料の学習会

『予約登録米』の誕生秘話や仕組みについて説明し、お米の銘柄別の特徴や選び方のポイントなどを参加者にアドバイスしました。



# 組合員とともに よりよい商品づくりを



## 商品展示会

10月22日(火・祝)さいたまスーパーアリーナで、「商品展示会2019」を開催し、組合員とその家族、友人など約1,000人が来場しました。

商品展示会は、展示や試食を通じてパルシステム商品のこだわりの製法や安全・安心の取り組みをメーカーから直接聞くことができる貴重な機会です。

今回の展示会より、試食用のトレーをリサイクル食器に替え、CO<sub>2</sub>排出総量の削減やプラスチック削減に取り組みました。



## 組合員開発商品

2019年度は、「Fish,Fish,Fish!」のチームメンバー8名が、解凍不要で調理が楽、魚嫌いな人にもおいしく食べられる商品を!と開発した『フライパンでまぐろの漬けカツ』。6月に新商品としてカタログに登場しました。



## 公開確認会

公開確認会は、組合員が産地を訪れ、農畜産物の生産方法や安全性を直接確認するとともに、生産者と消費者が理解し合い、課題や情報を共有して次につなげていくパルシステム独自の取り組みです。パルシステム埼玉では、8月23日、24日に大阪府羽曳野市の「なかむら農園」で『デラウェア』を対象に開催しました。



# 顔の見える交流を もっと身近に



## 『農・彩・土』

埼玉産直協議会『農・彩・土』は、2011年に埼玉県内産直産地の沃土会、南埼玉産直ネットワーク、パルシステム連合会、(株)ジーピーエス、パルシステム埼玉の5団体で生産者と消費者の交流を通じて地産地消をすすめ、県内の農業と環境を守ることを目的に設立しました。



## 沃土会

深谷市を中心に深谷ねぎをはじめ、野菜全般を生産している、パルシステムの産直産地「沃土会」。自然を大切に微生物を利用した農法で野菜作りに取り組んでいます。パルシステム埼玉とは、前身の南埼玉生協わかばの頃から20年以上提携しており、組合員参加型の交流企画が活発に行われています。



## 南埼玉産直ネットワーク

さいたま市岩槻区と吉川市でパルシステムの野菜（長ねぎ・小松菜・ほうれん草・ルッコラなど）を栽培している生産者グループです。組合員が参加する田んぼ交流では、田植えから稲刈りまで指導していただいています。



## 産直講座

パルシステムの産直産地より生産者を迎えて学習会を開催します。2019年度は5回開催し、延べ122人の組合員が参加しました。生産者は商品の魅力や栽培、生産のこだわり、苦労などを伝え、組合員から商品への評価や励ましの声を直接聞く機会となりました。



# くらしや地域と向き合い、めざすのは持続可能な環境

環境エネルギー

## エコライフフェスタ

環境への意識を高めることを目的としたイベントです。ぱる★てらすの全フロアを使用してさまざまなイベントを行い、参加者が体験しながら環境について学びました。また、開催前に『埼玉打ち水の環2019』の一環で、会場前で打ち水を行い、涼しさを味わいました。



## 木質化

2018年度より始まった「ウッドスタート宣言」に基づき、ぱる★てらす2階のコミュニティスペースの一部を木質化しました。

商品展示会ではウッドプールを設定するなど、組合員、施設利用者などに「木」の温もりを感じてもらえように取り組んでいます。



## 環境シネマ上映会

国連平和大使であるレオナルド・ディカプリオの約2年にわたる旅を記録した「地球が壊れる前に」の上映会と理学博士 西原智昭氏のトークショーを行いました。参加者が環境問題への意識を高め、温暖化・気候変動について考える企画となりました。



## うちエコ診断

「うちエコ診断」は、環境省認定の公的資格を持つ「うちエコ診断士」が、ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専用ソフトを用いて診断を行うもので、ライフスタイルに合わせた無理なくできる省エネ対策を提案します。エコライフフェスタの中で参加者を対象に行いました。



## グリーンカーテンコンテスト

グリーンカーテンは、日差しを遮ることで室内の温度上昇を防ぎ、エアコンの使用量を減らすなど夏の節電・省エネルギー対策に有効です。家庭でのCO<sub>2</sub>量削減を図ることを目的にコンテストを開催しました。商品展示会2019で参加者投票を行い、応募の中から最優秀作品が選ばれました。



## 大豆トラスト運動

大豆トラスト運動は、組合員が一定の区画にお金を出して国産大豆を作り、耕作放棄地をよみがえらせるための運動です。パルシステム埼玉では、2005年に児玉郡神川町で大豆トラスト運動をスタートさせ、毎年神川農業グループとヤマキ株式会社の協力を得ながら有機栽培で大豆作りを行っています。



## 環境方針

生活協同組合パルシステム埼玉は、理念・ビジョンに基づき、暮らしや社会の問題を解決する事業を地域の中に広げ、食料品・日用品を中心とした商品の供給、及び共済、葬祭などのサービスを組合員等に提供しています。

私たちは、これらの事業活動による環境影響の大きな項目について、技術的かつ経済的に可能な限りの範囲で、環境目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境負荷の低減・汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

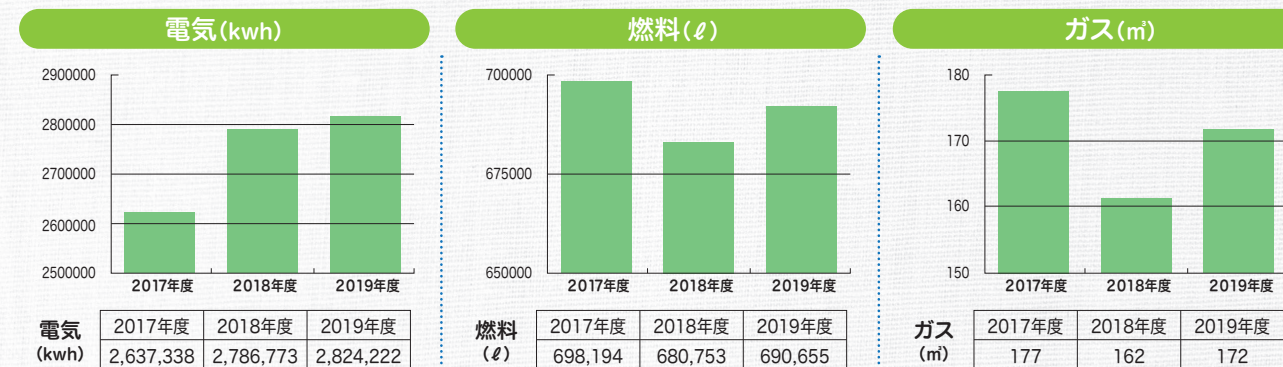
また、環境関連の法律、規制、条例、パルシステム埼玉が受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。

- ① 事業所における節電や環境配慮設備の導入により、CO<sub>2</sub>の排出量削減に取り組みます。
- ② 環境に配慮した商品の普及とリユース・リサイクル品の回収に組合員とともに取り組みます。
- ③ 一人ひとりがくらしの中で身近にできる環境活動を応援します。
- ④ 産直生産者との交流を主軸に、環境保全型農業をすすめます。
- ⑤ 地産地消の視点から、県内産地の商品の取り扱いを増やします。
- ⑥ 再生可能エネルギーの拡大に取り組みます。

### ① パルシステム事業におけるCO<sub>2</sub>排出量

|      | 2017年度      | 2018年度      | 2019年度      |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 電気由来 | 639,544kg   | 372,843kg   | 348,555kg   |
| 燃料由来 | 1,395,425kg | 1,369,819kg | 1,422,898kg |
| ガス由来 | 1,080kg     | 989kg       | 1,048kg     |
| 排出量計 | 2,036,050kg | 1,743,651g  | 1,772,502kg |

### ② 電気・燃料・ガス使用量



### ③ 組合員活動施設「ぱる★てらす」の状況

|                     | 2017年度            | 2018年度            | 2019年度            |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 電気使用量               | 45,367kwh         | 45,426kwh         | 43,522kwh         |
| ガス使用量               | 171m <sup>3</sup> | 132m <sup>3</sup> | 127m <sup>3</sup> |
| 水道使用量               | 294m <sup>3</sup> | 272m <sup>3</sup> | 275m <sup>3</sup> |
| 太陽光発電               | 8,620kwh          | 8,686kwh          | 8,237kwh          |
| CO <sub>2</sub> 排出量 | 20,232kg          | 15,606kg          | 5,223kg           |

### ④ リユース・リサイクル回収状況

|                | 2015年度    | 2016年度    | 2017年度    | 2018年度    | 2019年度    | 2018年比 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 米袋             | 3,156     | 5,279     | 5,615     | 5,905     | 6,047     | 102%   |
| 注文用紙           | 46,919    | 50,446    | 47,642    | 46,040    | 45,949    | 100%   |
| 商品カタログ         | 1,855,903 | 1,870,390 | 1,905,697 | 1,998,127 | 1,928,903 | 97%    |
| 資源プラスチック       | 40,605    | 39,951    | 43,106    | 42,896    | 41,487    | 97%    |
| 紙パック           | 72,802    | 71,708    | 71,336    | 68,452    | 62,828    | 92%    |
| たまごパック         | 86,441    | 85,941    | 85,475    | 83,987    | 80,227    | 96%    |
| ペットボトル         | 757       | 12,420    | 16,445    | 20,303    | 22,270    | 110%   |
| ABパック・ヨーグルトカップ | 12,810    | 11,704    | 11,439    | 11,639    | 12,377    | 106%   |
| お料理セットトレイ      |           | 3,734     | 5,270     | 8,440     | 10,937    | 130%   |
| リユースびん         | 316,330   | 314,908   | 315,558   | 306,749   | 309,506   | 101%   |

単位:kg(びんは本数)

# 考えて、参加して 平和なくらしをつくろう 平和国際

## ピースアクションinヒロシマ

昨年8月4日～6日、6家族15人の組合員と役員4人が、日本生活協同組合連合会と広島県生活協同組合連合会との共催の「ピースアクションinヒロシマ」に参加しました。被爆から74年が経った昨年は「ヒロシマの心を次世代のあなたへ～知って、感じて、動き出そう～」をテーマに取り組み、被爆地ヒロシマで被爆の実相を知り、核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを学びました。



## 平和のつどい

2018年度パルシステム埼玉平和募金の支援先5団体を迎えた、「平和のつどい」を開催しました。報告会では、各団体より支援する国や地域の状況と、組合員から寄せられた「平和募金」が、現地の人々の生活にどのように役立てられているかが伝えられました。交流会も行い、フェアトレード商品や、支援国の女性たちが作った手工芸品の販売もあり、民族刺繍などの作品を手取る参加者の姿が見られました。



## オイスカ「楽器をフィリピンに贈ろう」

毎年3月末～4月初旬にかけ、組合員に使わなくなったリコーダーや鍵盤ハーモニカなどの楽器と柔道着の寄付を呼びかけています。提供された楽器や柔道着は国際NGOオイスカ茨城推進協議会に引き渡し、ボランティアによる清掃、消毒作業後、船積みされてフィリピン（一部はスリランカ）に運ばれます。現地の小学校では贈られた楽器を使ってコンサートを開き、柔道着はネグロス島の大学での授業に役立っています。



## ヒバクシャ国際署名

パルシステムグループ全体で被爆者が訴える核兵器廃絶にむけた国際署名(ヒバクシャ国際署名)に取り組みました。

ヒバクシャ国際署名は、2016年の国連総会で、2017年からの「核兵器禁止条約」交渉決議が採択されたことで、平均年齢80歳を超えたヒロシマ・ナガサキの被爆者が世界に賛同を呼びかけたものです。

2017年度～2019年度の累計では、パルシステムグループで24万3,469筆、パルシステム埼玉で3万8,014筆が寄せられました。

今後パルシステムは、2020年まで署名活動を行います。



## 日韓子ども交流

2000年に始まった韓国プルンドゥレ生活協同組合との子ども交流が7月25日～28日、の3泊4日で行われました。1年ごとにお互いの国を訪問する交流で、2019年度は、韓国から子どもたちが来日し、日本の子どもたち10人が迎えました。いっしょに茶道や和紙の手すき体験を行い、ホームステイするなど、言葉の壁を乗り越え友情を育みました。



## 平和募金

パルシステム埼玉では、戦争や貧しさの中にくらす子どもと女性のために国際支援を行なっているNPOやNGOと協力して毎年「パルシステム埼玉平和募金」に取り組んでいます。

2019年度も組合員に募金を呼びかけ、現金とポイントカンパを合わせて183万4,512円が集まりました。



## 支援団体

特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会、特定非営利活動法人バレスチナ子どものキャンペーン、特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン、特定非営利活動法人APLA、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会



## 人材育成



### 教育プログラム



#### パルカレッジ

教育研修カリキュラム「パルカレッジ」にのべ51人が参加し、「商品知識」や「生協の役割」など階層ごとに必要な知識を習得しました。



#### 産地研修

県内産地の米作り体験や遠隔産地の田んぼの草取りなどの産地研修にのべ16人が参加しました。



#### キャリア形成教育

資格取得促進・ジョブローテーション・職員提案制度などを体系化しキャリア形成教育と位置付け、組織の活性化につなげています。

### 協同学苑視察

パルシステム埼玉が事業活動方針に掲げる「愛と協同(賀川豊彦)」の研修を行なっています。2019年12月6日、7日に、コープこうべ(兵庫県)の協同学苑等の視察交流を行い、職員6人が参加しました。

歴史ある生協の関連施設を視察、交流をすることで、「協同組合」に関する理解を深め、コープこうべの事業、安全運転に関する取り組みを学びました。



### 障がい者雇用

#### 埼玉県障害者雇用優良事業所の 認証更新

各事業所で障がい者雇用を促進し、優良事業所として継続認証されています。

#### ◆ 障がい者雇用率

| 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--------|--------|--------|
| 2.76%  | 2.62%  | 3.02%  |

### その他

#### 女性の活躍推進

すべての職員が活躍できる職場づくりをめざし、自主行動計画を策定しています。新卒採用を積極的に進め、正職員の女性比率の向上に取り組んでいます。

#### ◆ 女性正職員比率

| 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|--------|--------|--------|
| 20.6%  | 20.6%  | 17.5%  |



## 内部統制



### コンプライアンスについて

“コンプライアンス”とは、「法令の主旨、精神、企業倫理に従った行動」を指します。組合員数20万人を超える生活協同組合として、コンプライアンス体制の構築は社会的責任のひとつです。パルシステム埼玉では2014年2月に、コンプライアンス規程を制定し、全役職員が業務遂行にあたり、行動規範(各職員が常時携帯)に従い、関係法令、定款、規程等を遵守し日常業務を効率的かつ効果的に遂行することを明記しています。

コンプライアンスに対する違反行為は、社会的な影響力が大きいため、日常のリスク回避行動は、欠かせません。各部門、事業所においては、月次点検を通じて、自らの職場におけるコンプライアンス状況を振り返る取り組みを行なっています。さらに、役職員に対する関連教育の実施、年1回の総合内部監査、全職員を対象にした関連アンケート、職員への聞き取り調査などを通じて、コンプライアンス体制の維持を行なっています。

### 情報セキュリティについて

パルシステム連合会では、パルシステム埼玉をはじめとする会員生協の情報資産の管理・運用を含めた総合的な情報セキュリティ体制を構築しています。その中で「パルシステム連合会・個人情報保護・情報セキュリティ委員会」を会員団体で構成しています。この委員会では個人情報及び情報シス

テムに関する事故を未然に防止する対策を講じていると同時に運用マニュアルの監修も行なっています。

組合員の個人情報保護は、月次点検や内部監査、役職員に対する年2回の教育を実施し、厳重な管理体制を構築しています。

### 個人情報保護法について

2017年5月の法改正を踏まえ、関係する規程類を理事会で改定しました。また、パルシステム埼玉の個人情報保護姿勢を示した「個人情報保護方針」も法改正の主旨を反映した改定を行なっています。この改定は、パルシステム連合会をはじめ、

パルシステム埼玉を含む首都圏3生協間で方針基調を整合させた改定となっています。パルシステムグループ全体として情報セキュリティ体制を協調させる取り組みとなっています。

### パルシステム埼玉の広報

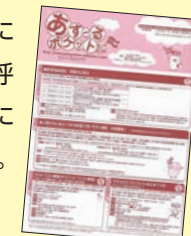
#### 機関誌 『あすーる』

組合員とパルシステム埼玉をつなぐ月刊誌として、組合員のみなさんに伝えたいことを編集会議で決定し作成しています。



#### 情報誌 『あすーるポケット』

あすーるポケットはパルシステム埼玉、組合員、その他団体が運営する企画について参加を呼びかけるために発行しています。



#### ホームページ

事業や組合員活動の報告、あすーるポケット企画情報など最新情報を発信。2019年11月よりリニューアルし、スマートフォン対応となりました。





# パルシステムの取り組み

10のパルシステムが力を合わせ、関東近郊の  
1都10県の生活を支えます。



## パルシステム生活協同組合連合会とは

パルシステム生活協同組合連合会は、首都圏を中心とした生協で構成する連合会組織でパルシステム埼玉もその会員生協です。パルシステムグループ(会員生協と子会社)は、食を中心とした商品の供給事業や共済・保険事業、福祉事業などを展開しています。



## ほんもの実感

私たちの「選ぶ」が変える3つの行動テーマ

Action  
1

「ほんもの」の価値を知り、  
一人ひとりが選択しよう！

Action  
2

「ほんもの」をつくる  
生産者・メーカーと会おう！  
話そう、伝えよう！

Action  
3

「ほんもの」をおいしく  
ムダなく使いこなそう！



以上の3つの行動テーマを掲げ、「ほんもの」を選ぶことで世の中が変わることをめざしていきます。

## 品質保証

パルシステムでは、組合員に届く商品が約束を守っているか、確かな品質であるかを確認するために「仕様書管理」「商品検査」「工場点検」など徹底した品質管理を行なっています。組合員からの申し出など問題が起きた際には、原因調査の上、再発防止に向けて産地やメーカーと一緒に改善に取り組んでいます。



## 7つの約束

「食」と「農」をつなぎ、いのちの力があふれる社会を、次の世代にきちんと手渡したい。その思いを込めてパルシステムは、次の「7つの約束」の実現を目指して商品づくりをすすめます。

- 1 作り手と「顔の見える関係」を築き、信頼から生み出された商品をお届けします。
- 2 食の基盤となる農を守るために国産を優先します。
- 3 環境に配慮し、持続できる食生産のあり方を追求します。
- 4 化学調味料不使用で、豊かな味覚を育みます。
- 5 遺伝子組換えに「NO!」と言います。
- 6 厳選した素材を使い、添加物にはできるだけ頼りません。
- 7 組合員の声を反映させた商品づくりを大切にします。

## 生活用品への6つの想い

- 1 商品の成分や材質の基準を設けて、安心して安全な商品をお届けします。
- 2 森林を育み、「森」「川」「海」の環境を守り、石けん運動を広めます。
- 3 再生原料の利用を推進し、限りある資源を有効に活用します。
- 4 文化や技の継承・発展、国産のものづくりを応援します。
- 5 「もの」を長く使い続ける良さを伝えます。
- 6 組合員の声を反映させた商品づくりを大切にします。



## あゆみ

- ▶ **1951** 蕨生協としてスタート
- ▶ **1971** 再建総会
- ▶ **1975** 南埼玉生活協同組合わかばと改称
- ▶ **1977** 首都圏コープ事業連合（現在のパルシステム連合会）に参加
- ▶ **1984** さきたまグリーン生協設立
- ▶ **1992** わかば生協、個別宅配事業開始
- ▶ **1994** わかば生協とさきたまグリーン生協が合併し、ドゥコープとしてスタート
- ▶ **1996** ソーラー電池照明、LPG 車の導入
- ▶ **1997** BMW システムによる中水施設を建設  
いきいきネットワーク（家事援助活動）がスタート
- ▶ **1998** 薄層緑化など環境に配慮したセンターとして白岡センター移転新築
- ▶ **1999** 市民活動支援金開始
- ▶ **2000** ISO14001 の認証取得  
韓国「プルンドゥレ生活協同組合」（仁川市）との「日韓子ども交流」を開始
- ▶ **2001** 所沢センターを三芳町に移転し、三芳センターに改名
- ▶ **2006** 雨水利用設備や託児所などを備えた草加センターを新たに開所
- ▶ **2008** 食料自給率向上に向け「パルシステム 100 万人の食づくり」運動スタート
- ▶ **2009** 太陽光発電システムを導入した川越センターを新たに開所
- ▶ **2011** 埼玉県勤労者生活協同組合からパルシステム事業を譲受、パルシステム埼玉に名称変更  
パルシステム埼玉蕨センターを建替え（太陽光発電、BMW システムを導入）
- ▶ **2012** パルシステムサービスセンター（略称：P S C）で組合員の声の一元管理スタート
- ▶ **2015** 「パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金」を開始
- ▶ **2016** 組合員活動施設「ばる★てらす」がオープン  
発電事業を担う（株）パルシステム発電を設立
- ▶ **2018** 消費生活協同組合制定 70 周年記念 厚生労働大臣表彰を受賞  
障害者雇用優良事業所及び高齢者雇用優良事業所を対象とした埼玉県知事表彰を受賞
- ▶ **2019** 埼玉県内企業初となる「ウッドスタート宣言」を締結  
ホームページをリニューアルし、スマートフォン対応に変更
- ▶ **2020** 東松山センターが移設し、熊谷センターが稼働を開始

## 本部・蕨センター アクセス

〒333-0846 埼玉県蕨市錦町 2-10-4

TEL：048-432-7093（代表電話） 月～金／9時～17時30分